



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月5日

上場会社名 東洋埠頭株式会社 上場取引所 東
コード番号 9351 URL <https://www.toyofuto.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 匡史
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 大野 武一 TEL 03-5560-2702
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	26,295	△10.5	893	△37.3	1,020	△43.0	651	△46.7
2023年3月期第3四半期	29,375	8.9	1,424	9.5	1,791	14.6	1,223	13.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,729百万円 (13.2%) 2023年3月期第3四半期 1,527百万円 (36.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	87.26	—
2023年3月期第3四半期	159.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	46,983	25,015	52.9	3,354.00
2023年3月期	46,313	23,885	51.3	3,144.54

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 24,865百万円 2023年3月期 23,737百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
2024年3月期	—	25.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	△5.5	1,200	△22.0	1,400	△24.2	1,000	△21.0	134.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	7,740,000株	2023年3月期	7,740,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	326,441株	2023年3月期	191,216株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	7,468,425株	2023年3月期3Q	7,692,614株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、P. 2をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結貸借対照表関係)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調となりましたが、地政学リスクの高まり、エネルギー資源をはじめとした原材料価格の高騰、円安の進行や物価の上昇などから、依然として不透明な状況が続きました。

物流を取り巻く環境は、貨物の荷動きが低調に推移し、厳しい状況が続きました。

国内総合物流事業の営業収入は234億6千8百万円（前年同期比1.8%減収）、営業利益は8億9百万円（前年同期比23.1%減益）となりました。

倉庫業は、危険品などの取扱が増加しましたが、石油化学品、穀物などの取扱が減少しました。入出庫数量は254万トン（前年同期265万トン）、平均保管残高は32万トン（前年同期37万トン）となり、ともに前年同期を下回りました。

港湾運送業は、ばら積み貨物の残土などの取扱数量が増加しましたが、川崎港でのコンテナ取扱数量が減少し、363万トン（前年同期376万トン）となりました。

自動車運送業は、全般的な荷動きの低迷により、前年同期を下回りました。

その他の業務は、物流関連施設の賃貸に伴う収入が増加しました。

国際物流事業の営業収入は31億8百万円（前年同期比45.4%減収）、営業利益は7千4百万円（前年同期比79.5%減益）となりました。アジア、欧州向け輸出貨物の取扱が減少しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、営業収入は262億9千5百万円（前年同期比30億8千万円、10.5%減収）、営業利益は8億9千3百万円（前年同期比5億3千1百万円、37.3%減益）と前年同期を下回りました。営業外収支では、為替差損や持分法による投資損失を計上したことなどにより、経常利益は10億2千万円（前年同期比7億7千万円、43.0%減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億5千1百万円（前年同期比5億7千2百万円、46.7%減益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

全般の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億7千万円増加し、469億8千3百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の減少などにより、6億7千2百万円減少しましたが、固定資産は、株価の上昇に伴い投資有価証券が増加したことなどにより、13億4千3百万円増加しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ4億5千9百万円減少し、219億6千8百万円となりました。繰延税金負債は増加しましたが、借入金長期短期合わせて7億9百万円減少しました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ11億2千9百万円増加し、250億1千5百万円となりました。その他有価証券評価差額金が10億6千5百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.6ポイント上昇し、52.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月1日の「2024年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通期の連結業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,923	2,345
受取手形、営業未入金及び契約資産	4,196	4,222
原材料及び貯蔵品	248	244
前払費用	171	270
その他	1,119	903
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,658	7,986
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	58,460	58,856
減価償却累計額	△42,547	△43,295
建物及び構築物(純額)	15,913	15,560
機械及び装置	21,843	22,030
減価償却累計額	△18,514	△18,914
機械及び装置(純額)	3,329	3,116
船舶及び車両運搬具	1,412	1,438
減価償却累計額	△1,281	△1,316
船舶及び車両運搬具(純額)	130	122
工具、器具及び備品	1,148	1,205
減価償却累計額	△933	△954
工具、器具及び備品(純額)	215	251
土地	9,210	9,210
リース資産	128	171
減価償却累計額	△64	△83
リース資産(純額)	63	87
建設仮勘定	0	159
有形固定資産合計	28,863	28,507
無形固定資産		
その他	424	600
無形固定資産合計	424	600
投資その他の資産		
投資有価証券	6,649	8,166
長期貸付金	3	3
繰延税金資産	190	167
その他	1,546	1,574
貸倒引当金	△24	△22
投資その他の資産合計	8,366	9,888
固定資産合計	37,654	38,997
資産合計	46,313	46,983

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	3,253	2,980
短期借入金	5,259	5,296
リース債務	26	25
未払金	897	1,026
未払法人税等	289	64
設備関係支払手形	460	649
その他	1,184	1,032
流動負債合計	11,370	11,075
固定負債		
長期借入金	9,112	8,365
リース債務	38	64
繰延税金負債	106	665
退職給付に係る負債	1,559	1,565
資産除去債務	41	36
その他	198	194
固定負債合計	11,057	10,892
負債合計	22,428	21,968
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,260	8,260
資本剰余金	5,181	5,181
利益剰余金	8,414	8,653
自己株式	△263	△449
株主資本合計	21,593	21,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,922	2,988
為替換算調整勘定	152	161
退職給付に係る調整累計額	69	69
その他の包括利益累計額合計	2,143	3,218
非支配株主持分	147	149
純資産合計	23,885	25,015
負債純資産合計	46,313	46,983

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業収入	29,375	26,295
営業原価	26,250	23,560
営業総利益	3,125	2,735
販売費及び一般管理費	1,700	1,842
営業利益	1,424	893
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	203	225
受取地代家賃	58	60
持分法による投資利益	26	—
為替差益	128	—
投資有価証券売却益	1	—
その他	92	67
営業外収益合計	511	355
営業外費用		
支払利息	112	110
持分法による投資損失	—	14
為替差損	—	90
その他	32	12
営業外費用合計	144	227
経常利益	1,791	1,020
特別利益		
固定資産売却益	3	3
投資有価証券売却益	—	60
特別利益合計	3	63
特別損失		
固定資産除却損	61	62
特別損失合計	61	62
税金等調整前四半期純利益	1,733	1,021
法人税、住民税及び事業税	425	271
法人税等調整額	74	96
法人税等合計	500	367
四半期純利益	1,232	654
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,223	651

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,232	654
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	250	1,065
為替換算調整勘定	19	1
退職給付に係る調整額	14	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	10	8
その他の包括利益合計	295	1,075
四半期包括利益	1,527	1,729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,518	1,726
非支配株主に係る四半期包括利益	8	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

(偶発債務)

前連結会計年度 (2023年3月31日)

(当社川崎支店の火災について)

当社は、以下のとおり、2022年3月28日付で損害賠償請求訴訟を提起され、2022年5月23日に訴状の送達を受けました。

1. 訴訟の概要

当社川崎支店において、2019年4月16日にベルトコンベアから火災事故が発生し近隣の施設に延焼しました。これに対し、延焼した施設で発電事業を行っている株式会社京浜バイオマスパワー、また発電施設の所有者である出光興産株式会社より2022年3月28日付にて、当社に対する損害賠償請求訴訟が提起されました。

2. 訴訟を提起した者の概要

- (1) 名称：①株式会社京浜バイオマスパワー
②出光興産株式会社
- (2) 所在地：①神奈川県川崎市川崎区扇町18番1号
②東京都千代田区大手町一丁目2番1号

3. 損害賠償請求金額 (遅延損害金を除く)

- ①37億9,423万8,105円
- ②2億6,486万7,975円

4. 今後の見通し

当社としては、事実関係の認識などに相違があるため、訴状の内容を精査のうえ、適切に対処していきます。訴訟の推移によっては、将来金銭的負担が生じる可能性があります。現時点では連結財務諸表に与える影響を合理的に見積もることは困難な状況です。

当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)

(当社川崎支店の火災について)

当社は、以下のとおり、2022年3月28日付で損害賠償請求訴訟を提起され、2022年5月23日に訴状の送達を受けました。

1. 訴訟の概要

当社川崎支店において、2019年4月16日にベルトコンベアから火災事故が発生し近隣の施設に延焼しました。これに対し、延焼した施設で発電事業を行っている株式会社京浜バイオマスパワー、また発電施設の所有者である出光興産株式会社より2022年3月28日付にて、当社に対する損害賠償請求訴訟が提起されました。

2. 訴訟を提起した者の概要

- (1) 名称：①株式会社京浜バイオマスパワー
②出光興産株式会社
- (2) 所在地：①神奈川県川崎市川崎区扇町18番1号
②東京都千代田区大手町一丁目2番1号

3. 損害賠償請求金額 (遅延損害金を除く)

- ①37億9,423万8,105円
- ②2億6,486万7,975円

4. 今後の見通し

当社としては、事実関係の認識などに相違があるため、訴状の内容を精査のうえ、適切に対処していきます。訴訟の推移によっては、将来金銭的負担が生じる可能性があります。現時点では四半期連結財務諸表に与える影響を合理的に見積もることは困難な状況です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	国内総合 物流事業	国際物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,846	5,528	29,375	—	29,375
セグメント間の内部 売上高又は振替高	61	166	228	△228	—
計	23,908	5,695	29,603	△228	29,375
セグメント利益	1,052	365	1,418	6	1,424

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	国内総合 物流事業	国際物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,407	2,887	26,295	—	26,295
セグメント間の内部 売上高又は振替高	61	220	281	△281	—
計	23,468	3,108	26,577	△281	26,295
セグメント利益	809	74	884	8	893

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。